

第1回 ぎのわん・未来ワークショップ 結果概要

《テーマ》 ～10年後の宜野湾市を考えよう～

日時：平成28年5月25日（水）
19時00分～21時00分
場所：宜野湾市役所
別館3階 第1会議室
出席者数：19名 傍聴者数：0名

1 開会・あいさつ

宜野湾市 企画部 企画政策課 宮城氏より開会にあたってのあいさつをいただきました。



2 ぎのわん・未来ワークショップの趣旨、運営方法の説明

宜野湾市 企画部 企画政策課 宮城氏よりワークショップの趣旨、運営方法を説明していただきました。

3 ぎのわん・未来ワークショップ進め方と説明

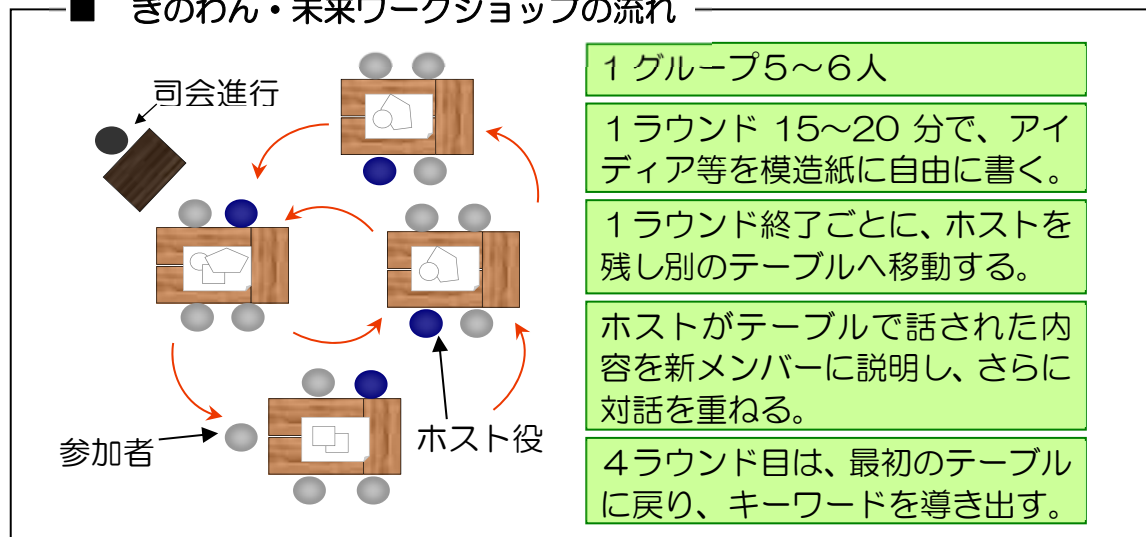
ワークショップの進め方としてワールドカフェ方式を採用し、ワークショップ前のアイスブレイクとして、各グループで「他己紹介」を行いました。

■他己紹介の様子



4 ワークショップ（10年後の宜野湾市を考えよう）

■ ぎのわん・未来ワークショップの流れ



今回のぎのわん・未来ワークショップにおける各ラウンドのテーマは以下のとおりでした。

- 1ラウンド（20分）：10年後の宜野湾市はこんなまちにしたい
- 2ラウンド（15分）：こんなまちになってほしくない宜野湾
- 3ラウンド（15分）：理想の宜野湾市を実現するために市民がすべきこと
- 4ラウンド（15分）：元のテーブルに戻って、キーワードを3つ考える

■ テーマ検討の様子



5 全体確認（発表）・まとめ・閉会

ぎのわん・未来ワークショップの結果により、各グループから発表された「10年後の宜野湾市に向けてのキーワード」は以下のとおりでした。

【グループA】

キーワード	説明
交通改善	慢性的に発生している交通渋滞を直す必要がある。
コミュニケーション	地域のコミュニケーションが大切である。
参加すること	自治会をはじめ、いろいろな場所に参加することが大切である。これからのまちに必要なものは、参加し、皆で議論していく必要がある。

【グループB】

キーワード	説明
地域コミュニティ活性化	防犯や子育てなどの面において、地域コミュニティがないとこれからの時代は厳しいのではないかと。地域コミュニティが核になる。
国際交流拠点	コンベンションセンターがあり、国際的なミーティングができる場所となっている。他にも大山のアメリカ家具など、国際的な色も残っている。そこを活用した交流拠点にする。
文化の町	普天間神宮や、その他芸能も宜野湾にはある。大学等もあることから、文化の町ができると思う。

【グループC】

キーワード	説明
ジョニー宜野湾10万人計画	宜野湾を知ることからはじめ、宜野湾を好きになってもらう。人口は今9万4000人であるが、目標人口は10万人。人口が増えすぎるのも良くないが、皆が宜野湾を知り、発信していくことが大切である。
まちでにっこり挨拶ができる	道で会って挨拶することからお互いを知ることが始まる。10年後に向けて周りの人たちを知ることが大切である。
コミュニケーション	地域の中でコミュニケーションが活発になれば良いのではないかと。地域単位で隣2、3件同士イベントを実施するなど、地域のコミュニケーションを大切にしていく。

【グループD】

キーワード	説明
参画しやすい宜野湾市	こういったワークショップのように、皆が参画し宜野湾市のことを考えることが大切なのではないか。義務などではなく、皆が参画できるような社会にしていきたい。
コミュニケーションができる宜野湾市	最近、隣近所がわからない時代になっており、安全ではない。コミュニケーションをすることによって、参画しやすい宜野湾市にも繋がる。
安心・安全な宜野湾市	子どもが住みやすい、女性がひとりで歩ける安全・安心な宜野湾市を目指していくことが必要である。

【全体のまとめ】

- 『コミュニケーション』というキーワードが各グループから発表されました。
- 他にも『参画すること』や、『国際交流拠点』、『交通改善』といったキーワードが発表されました。
- また、『ジョニー宜野湾 10万人計画』など、総合計画の中で将来人口を検討する際の参考になる意見も発表されました。

■発表の様子

